



今月の記事

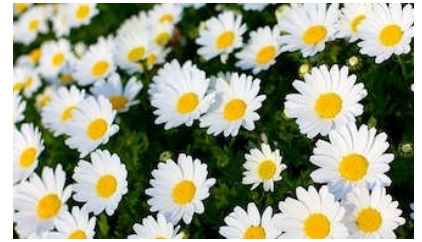
理事長挨拶

先月からの愛の園

ここがこだわり！

リレーエッセイ

1～2月の予定



理事長
宮崎靖子

「申年に思う」

あけましておめでとうございます。「年の初めのためしとて」愛の園祝賀会に温かい歌声が一杯に広がり、共に皆の祝福を祈り合って、新しい年がスタートしました。

今年は、申年です。猿と言ったら、大好きな物語に孫悟空があります。その中に、悟空が、お釈迦さまと術比べをするひとくだりがあります。悟空が得意のきんと雲に乗って、天も狭しと飛ばしていた時、目の前に一本の柱の様な物を見つけ、「どんなもんだ、こんなに飛んだんだぞ。」と自慢の印を付けたのでしたね。しかし、その柱と思ったのは何とお釈迦様の中指！その偉大さに完敗です。それからの悟空の生き方は180度変わります。

お釈迦様の手の平の中を飛び回った悟空の様に、私もどんな事があっても、大きな力の中に小さな自分、弱い自分が守られ、生かされて居るのだということの、不思議さ、有り難さが身に染み込んだのです。それと共に、いつも私が噛みし

める「立つも大地、倒るも大地、みな慈しみ深き神の懐」を合わせています。

今年一年、私達にも色々なことが起こるでしょう。全てお釈迦様の手の平の中、元気一杯で立っている時の大地、絶望で倒れ込んだ大地も温かい神様の懐の中を覚えましょう。今迄知らなかった明るい光が、私達にさしてくる筈です。多くの方達から守られている愛の園大家族です。

感謝の中に明るく、支え合いながら健やかな1年を過ごして参りましょう。



1ユニット入口に飾られた初春を彩る活花は、入居者の佐々木とみさんの作品です。



新年祝賀朝礼で挨拶する宮崎理事長

先月からの愛の園 あんなこと、こんなこと



毎年恒例のクリスマスイブ礼拝。礼拝の後はロウソクの綺麗な明かりのなか、キャロリングで各ユニットを訪問して回りました。 12/24



今年も無事にクリスマス聖劇を終えました。入居者、ボランティアの聖歌隊、職員で頑張って演じたこの劇は大盛況となりました。 12/25



新年を迎える準備のひとつ、恒例のお餅つきを行いました。入居者の皆さんが一生懸命にお餅をついてくれました。 12/27



新年の祝賀朝礼で理事長のメッセージをいただき、申年生まれの入居者・職員を紹介して皆で祝いました。 1/1



ここがこだわり！私のユニット 3ユニット

介護職員
小中久美子

私が3ユニットに来てから、2度目の新年を迎えようとしています。

当初、他のユニットより男性の入居者の方が多く、ユニットの雰囲気も落ち着いたものでしたが、1年が過ぎ11月から新しい入居者のAさんを迎え、リビングの様子も華やかになりました。

彼女は大学を卒業し、ご主人と共に薬局を経営し、薬剤師としてご活躍されキャリアウーマンの先駆けでした。英語やドイツ語の歌を口ずさんでいたり、言葉の意味を教えてください

します。

元看護師のBさんは「手術の助手ばかりしていたので私の手は男の人の手みたいや」と笑い、若い頃に県外で長い間接客業をされていたCさんは「朝から晩まで働いた。働かざる者喰うべからずや」と昔を振り返り、懐かしそうに笑って話されます。

大正から平成まで、多くの人生経験を積み重ね、現在とても輝いている人生の先輩方のお言葉に、多くのことを学ばせていただいています。

リレーエッセイ(41) 「二人の霊母」

設備職員
塩地良市

深和ホーム開設当時、ホーム長を務められた深田霊母は、品格と威厳を兼ね備えた気骨稜々たるカリスマ性のある方でした。

礼儀作法には殊更厳しく、私も頻回に叱責されましたが、それも度重なってくると徐々に親近感を覚えるようになり、ついには陰で「バアちゃん」と呼んでおりました。

ところが、これがすっかりバレ、ある日霊母直々に問い詰められ返答に窮した苦い思い出があります。まさに汗顔の至りでした。

一方、深田霊母の後継者となられた濱野霊母は言うなれば庶民的なお人柄で、達筆であり、また大変料理の得意な方でした。修女院ではお雑煮を頂き、また夕食のおかずをお裾分けして頂くこともありましたが、生野菜ジュースだけは逃げ回っていました。

思えば不肖の職員であったのにも拘らず、色々と思情に写りお世話になりました。そして、修女の道を選択された修女会の皆様の強い決断力と高潔さには頭が下がります。

さて、愛の園は機能訓練室が設置された特色ある施設として脚光を浴び、開設40周年を越え半世紀に近づきつつあります。

この偉業は神愛修女会の皆様の身命を賭した献身的努力と、創設にご協力下さった方々のお力添えがあって今日がある訳であります。

その経緯を深く心にとめ、愛の園の精神が連続として受け継がれていくよう努力することが、亡き二人の霊母様及び修女様に捧げる何よりの手向け花になるのではないのでしょうか。祈りとは最善を尽くすことだと思います。

次回は中山静香さんをお願いします。

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp



<https://www.facebook.com/shinaiikai>

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

1～2月の愛の園

- 12(火) マリア会
- 14(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 15(金) 社協ボランティア来園
- 17(日) 礼拝(聖餐式)
- 18(月) まりもと愉快的仲間たち来園
- 19(火) ひまわり会
- 21(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 24(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 26(火) マリア会
- 27(水) 歯科診療日
- 28(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 31(日) 礼拝(聖餐式)
- 4(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 7(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 8(月)～10(水)
関西国際大学ワークキャンプ
- 9(火) マリア会
- 11(木) やまびこ会 ヨガ教室

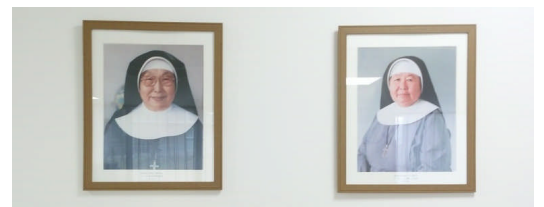
編集者から

新年あけましておめでとうございます。

今年は元旦から暖かい日が続きましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。

毎年12月、1月の寒い時期にはインフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行します。毎年のことではありますが、手洗いうがいのスタンダードプリコーション(標準予防策)の徹底が一番大切なことです。今年は暖冬ということもあり、例年に比べるとインフルエンザ等の感染症の集団感染の情報は少ないですが、普段から予防を意識しておくことで感染率を低下させることが可能です。

新しい年を迎えて、愛の園の職員一同、更に業務に励み、入居者の皆さん、ご家族の方々、また地域の方々に貢献していきたいと考えております。年もよろしく願いいたします。(C)



1階ホールに掲げている深田霊母(左)と濱野霊母の写真